ネット版

かんがえる問題プラス！ vol.3

ご家庭でプリントアウトしてお使いください。

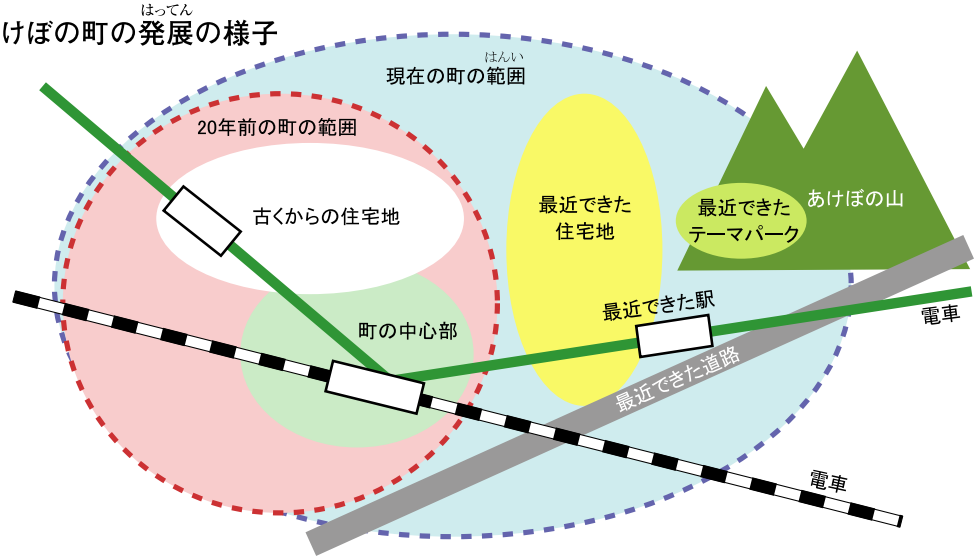
問題

観光地のあけぼの町に住む小学生・ケンタくんのレポートを読んで、あとの問いに答えましょう。

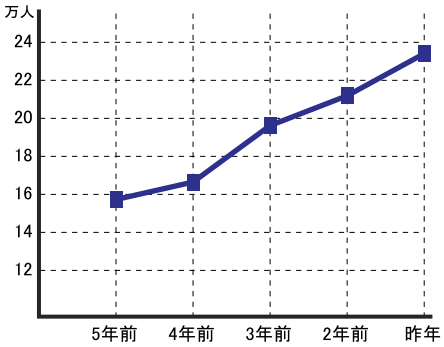
ケンタくんのレポート

ぼくの住むあけぼの町は、昔から自然が豊かなところです。最近は、あけぼの山のふもとにテーマパークができ、新しい駅や道路が開通して、多くの観光客でにぎわうようになりました。そのため町は豊かになり、人口も増えましたが、いっぽうで問題も起こるようになったのです。町のシンボルであり自然の宝庫だったあけぼの山にいるクマやイノシシ、サルなどが町に下りてきてしまい、子どもやお年寄りがけがをするという事件が多く発生するようになりました。また、こうした動物の子どもたちが、山への帰り方がわからず、町から動けなくなるということも起こっています。そこで、クラスで2つのチームに分かれて、問題を解決するにはどうすればいいか調べ学習を進めることにしました。

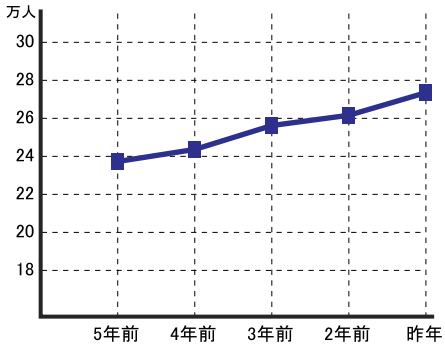
地図 あけぼの町の発展（はってん）の様子



グラフ1 あけぼの町の観光客の増加



グラフ2 あけぼの町の人口の増加



(C) Benesse Corporation 2006. All rights reserved.　このホームページに掲載する文章、イラスト画像などの無断転載を禁じます。

調べ学習で見つけた栃木県日光市の資料

日光市がサル餌付け禁止条例を作った理由（日光市）

まずこの「条例」というのは、日光市内だけであてはまる「きまり」のことです。
日光市は平成12年の4月1日からサルにエサを与えるのを禁止するきまりを作りました。
人間がサルにエサを与えるようになったから、サルが自分の方が人間よりも強いと考えるようになってしまって、人間を攻撃する（力を誇示する）ようになってしまいました。
さらにサルにエサをあげようとして近づいたりする人が多くなってしまったので、サルはますます人間をこわがらなくなってしまいました。
このように、おかしくなってしまった人間とサルの関係を元の状態に戻すために、サルにエサを与えることを禁止しました。

サルを見るとかわいいのでペットのようについエサを与えてしまいたくなりますが、実はエサを与えることが「サルの社会」をこわしているということを知ってください。

（1）ケンタくんが見つけた資料を作った日光市にある「日光の社寺」は、世界の貴重な自然や文化財を「世界遺産」として守るための「世界遺産条約」に登録されています。
次のうち、2005年に世界遺産条約に登録されたのはどこですか。1つ選んで□に○を書きましょう。

□ 知床（北海道）　□ 原爆ドーム（広島県）　□ 屋久島（鹿児島県）

（2）ケンタくんのレポートと下のポイントを参考にして、あけぼの町で動物たちが山から下りてきてしまう理由を考えて、200字程度で書きましょう。

ポイント　・町の発展　・動物たちのすみか　・観光客や人口の増加

理由

200

（C）Benesse Corporation 2006. All rights reserved.　このホームページに掲載する文章、イラスト画像などの無断転載を禁じます。

(3) ケンタくんはクラスの仲間と、次の2つの対策を考え、それぞれを実行するボランティアチームを作って活動することにしました。あなたなら、どちらのチームに入りますか。選んだチームの□に○を書きましょう。また、選んだ理由を50〜75字で、具体的にどんな活動をするかを100字程度で書きましょう。

□ 動物が山から下りてこないようにするチーム

□ 観光客にマナーを守ってもらうようにするチーム

理由

50

75

具体的な活動

100

(C) Benesse Corporation 2006. All rights reserved.　このホームページに掲載する文章、イラスト画像などの無断転載を禁じます。